

土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会（第 26 期・第 4 回）
IRDR 活動推進小委員会（第 26 期・第 4 回）
合同会議議事要旨

1. 日時 令和 6 年 12 月 17 日（火）13:00 – 15:00

2. 会場 オンライン会議（ZOOM）

3. 出席者（五十音順、以下敬称略）

IRDR 分科会：今村文彦、臼田裕一郎、江川新一、大原美保、小野裕一、川崎昭如、
佐竹健治、鈴木康弘、寶馨、多々納裕一、田村圭子、塙原健一、林春男、平田京子、
目黒公郎

活動小委員会：栗林大輔、小池俊雄、後藤隆昭、小浪尊宏、田端憲太郎、西川智、
廣木謙三、松浦象平、山崎律子

日本学術会議事務局：藤田崇志

防災減災連携研究ハブ事務局：大森光、岡部隆、木原智代、坂口昭一郎、丹羽暁子

4. 議題

(1) 国内コンポーネント

1) ぼうさいこくたい 2024

シンポジウム報告書を用いて報告。

(2) 国際コンポーネント

アジア太平洋閣僚級防災会議（APMCDRR）事務局より、資料 2-1 を用いて報告。

- ・ フィリピン共和国科学技術省のソリダム大臣から、アジア地域の研究機関をコーディネートしプラットフォームを作るという提案が出された。これは素晴らしい提案であり、日本学術会議の枠組の他、GADRI でもコミュニケーションをとっていただければと考える。
- ・ 東北大学ではソリダム大臣を 3 月の世界防災フォーラムに招待しており、その際にこの連携についても協議したい。
- ・ プラットフォーム形成について GADRI でも話ができればと考える。

IRDR 関連：資料 2-2-1~3 を用いて報告。

1) IRDR International Conference 2024

資料 2-3 を用いて報告。

2) ICoE-Coherence IAB 会議

資料 2-4 を用いて報告。

(3) 日本学術会議関連

1) 11/11 日本学術会議 土木工学・建築学委員会 報告

資料 3-1 を用いて報告。

2) 日本学術会議の動向について

資料 3-2 を用いて説明。

3) 25期提言に関するフォローアップレポートについて

資料 3-3 を用いて報告。

- ・ 様々な場で提言の話ををしていただき、コメントがあれば事務局にお寄せ願いたい。
- ・ 25期の提言について、各種国際会議において、関東大震災100年の議論も含めて話し、コメントを集約していただきたい。24期提言のインパクトレポートを広めた結果、その文言が国連文書に引用された実績もあり、地道な努力を続けたい。

4) 26期の提言について

資料 3-4-1~5 を用いて説明。

結論

- ・ 意思の表出の申出書については章立て等の微修正を行った後、日本学術会議事務局へ提出することが了承された。
- ・ 提言はIRDR分科会の単独出願とすることが了承された。
- ・ 提言の構想を3月の世界防災フォーラムで周知し、提言の改良・取りまとめに向け、関係する市民や団体、関係機関などとの有用な意見交換の場とすることが了承された。

提议案に関する主な意見

- ・ メガシティでの災害発生時の情報流通・情報配信についてはSNS等の情報の信ぴょう性の問題も重要な観点となるため、個別に章立てをするのが良い。
- ・ 各項目にメガシティの特徴と対応が見えるようにしたい。メガシティの特徴、セカンダリシティとの違いや、メガシティが壊滅するとどうなるか自立分散協調に関するセカンダリシティとの関係性等を示し、前回提言の論点を生かしたい。
- ・ タイトル3.について「減災対策」を追加し、法制度も内容に盛り込むのが良い。
- ・ 「都市における公衆衛生の強化」は健康被害に関連する大きな章である。「パンデミックからの教訓と対策」については「パンデミックから得られた対策」などオールハザードアプローチ的な表現に変えたい。
- ・ 熱波、熱中症などについては災害問題なのか健康問題なのか議論されるところだが公衆衛生の観点からどう考えるか、別途協議したい。
- ・ メガシティの災害での最大の問題は帰宅困難者・避難所不足等、ぼう大な人口の地域での問題をどう解決するかという点である。

資料 3-4-3：提言 2025への Input について報告。

その他の確認事項等

- ・ GADRIサミットは7/20~24にされるので査読中の提言として意見聴取できる。
- ・ 日本学術会議事務局：提言として査読依頼後に大幅な修正は不可となるため、2025年5月より前に「関連行政の意見徵収・調整」すべきである。
- ・ 読者・名宛人について、各国のメガシティも対象として追記すべきである。

5. その他

次回開催について

- ・ 日本学術会議事務局：申出書に対応委員会から助言が出される。助言を参考にしつつ執筆に移っていただくことになるが、それに対して委員会開催が必要なわけではない。
- ・ 次回開催日程については申出書を提出後、その反応等により時期を決定する。

以上

配布資料

資料 0：議事次第

資料 1-1-1：ぼうさいこくたい 2024_シンポジウム報告書

資料 1-1-2：防災国体 2024 チラシ

資料 2-1：アジア太平洋閣僚級防災会議 (APMCDRR)

資料 2-2-1：IRDR Scientific Committee 報告

資料 2-2-2：IRDR SC_declaration

資料 2-2-3：和訳_IRDR SC_declaration (案)

資料 2-3：IRDR International Conference 2024 報告

資料 2-4：ICoE-Coherence IAB 会議 報告

資料 3-1：2024.11.11 土木工学・建築学委員会 資料

資料 3-2：20241120TF_学術会議関連_田村

資料 3-3：フォローアップレポート（提言）_壊滅的災害

資料 3-4-1：戦略的提言 2025 のアイデア（議論用）

資料 3-4-2：提言 2025 の構成 (案)

資料 3-4-3：提言 2025 への Input

資料 3-4-4：(参考) 国連によるメガシティの定義

資料 3-4-5：意思の表出等の作成手続きについて